



潤生園 暮らしのデザイン室 開設記念

伊東 弘泰 (ITO, Hiroyasu) 先生

講演会

日時：4/21 (木) 18:00~19:30

会場：潤生園在宅介護総合センターれんげの里

特定非営利活動法人 日本アビリティーズ協会 会長
アビリティーズ・ケアネット株式会社 代表取締役会長兼社長
元 内閣府・障害者政策委員会差別禁止部会副部長
一般社団法人 障害者の差別の禁止・解消を推進する全国ネットワーク 会長

「アビリティーズ運動の歴史と、 障害者差別解消法によって大きく変わる社会」

アビリティーズは「保障より働くチャンス」をスローガンに、1966年4月にアビリティーズ運動を開始しました。同年6月には重度障害者を中心に株式会社を設立しました。印刷業から始め、のちに福祉用具や施設サービスの事業など、高齢者や障害者が自立と尊厳をもって住み慣れた地域に住み続けられるようさまざまなサービスを提供しています。

今年で50周年を迎える節目の年に、アビリティーズが長年にわたり運動展開してきた「障害者差別解消法」が施行されました。この法律により社会は大きく変わります。心身に障害のある国民の基本的人権が確保される社会の構築に向けて、差別とは何か、合理的配慮とは何か、差別のない生活、尊厳性の確保を実現するために、制定までの経緯やこれからの課題について講演します。

〔講師略歴〕 1歳でポリオにより下肢障害。1966年、早稲田大学を卒業後、4月、日本アビリティーズ協会(現NPO)を設立してアビリティーズ運動を開始。6月、障害者による障害者のための株式会社を設立(現、アビリティーズ・ケアネット)、重度障害者を中心として、印刷業。のちに福祉用具・リハビリ機器の開発、販売、輸出入、各種福祉施設を運営。1971年、原健三郎労働大臣に障害者雇用に関する提言をする。障害者雇用促進法改正の検討が始まり、1975年、改正法律が国会で成立する。2011年、先進国並みの障害者差別禁止法の制定実現のために他の障害者団体とともに、「JDA(障害者差別禁止法)を実現する全国ネットワーク」を結成(現 一般社団法人障害者の差別の禁止・解消を推進する全国ネットワーク)。2010年、内閣府に障害者差別禁止部会が設置され、副部長に就任。元早稲田大学客員教授。現烟台大学文経学院客員教授。